

2007年 5月 1日
号 外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988 (代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

政治とは 生活である。

民主党 長野県第5区総支部 (代表 加藤 学) 〒395-0051 飯田市高羽町3-4-6 TEL 0265-22-2480

民主党、今夏の参議院選勝利で政権交代へ

加藤がく 解散総選挙に向け、すでに臨戦モード

全国の統一地方選挙で民主党は大幅に議席を伸ばしました。地方を切り捨てる自民党政治への不満が各地域で募っている証拠です。

一大政治決戦となる7月の参議院選挙では、なんとしても民主党の圧倒的な勝利を実現し、年内には衆議院の解散総選挙に追い込み、地方の痛みがわからない安倍政権に終止符を打たねばなりません。

長野県では、羽田雄一郎参議院議員が3選に挑みます。自民党候補者を上回る完全な勝利によって、政権交代へと勢いづけます。

伊那谷では加藤学が、来るべき政権選択選挙に向けて、臨戦態勢で日常活動に一層励んでまいります。



加藤学を激励する小沢代表

今こそ、リベラル宣言。

空前の経常利益をあげる大企業がある一方で、200万円以下の収入で生活する貧困層が増え、教育や医療もお金次第という「格差」が広がっています。

にもかかわらず、安倍首相は生活者の悲痛な声には耳を傾けることなく、憲法の改正を急ぎ、教育への国家介入を強めて、競争による選別と愛国教育の徹底に力を注いでいます。

巨大与党が仕切る国会は、単に法案を通過させる機械に成り果てました。国民の無関心とあきらめ感の蔓延、



政治はさらに生活感覚から遊離し、権力者の言葉遊びの場になってしまいました。この悪循環を断ち切るために、私たちは民主主義の原点に立ち返らねばなりません。権力にへつらわず、自らの生活を自ら律する「自由」を取り戻す闘いの始まりです。寛容と共生のリベラル社会へ。

加藤 学(がく) 次期衆議院選公認候補

1968年 長野県生まれ。

上田高校・早稲田大学商学部卒業

1993-96年 NHK 報道番組ディレクター

マレーシア国立マラヤ大学院 経済学修士

英国ロンドン大学 大学院経済学博士課程修了

2001-05年 日本貿易振興機構アジア経済研究所

2004-05年 国際機関・国際林業研究センター

2005年 国会議員政策担当秘書資格取得

2006年— 中京学院大学経営学部 非常勤講師

伊那谷を元気にする重点政策

1. 農業: 全ての販売農家に直接支払い制度
2. 税制: 累進税率の見直しと金融取引税
3. 鉄道: 飯田線を整備し駅前商店街に人を
4. 道路: 高速道無料化と中京圏アクセス強化
5. 年金: 完全一元化と基礎年金の税保障
6. 分権: 消費税の地方比率増大と権限委譲
7. 外交: 日米同盟に偏重しない多国間外交
8. 安全保障: 国連指揮下の集団的安全保障